

A MARIO VAN PEEBLES FILM

# panther



## ALL POWER TO THE PEOPLE



**THE FBI DECLARED THEM PUBLIC ENEMY NUMBER ONE. THE PEOPLE CALLED THEM HEROES.**

POLYGRAM FILMED ENTERTAINMENT PRESENTS A WORKING TITLE PRODUCTION IN ASSOCIATION WITH TRIBECA PRODUCTIONS AND MVP FILMS A MARIO VAN PEEBLES FILM "PANTHER"  
KADEEM HARDISON BOKEEM WOODBINE JOE DON BAKER COURTNEY B. VANCE MARCUS CHONG TYRIN TURNER JAMES RUSSO NEFERTITI M. EMMET WALSH  
CASTING BY ROBI REED-HUMES C.S.A. MUSIC SUPERVISOR LARRY ROBINSON ORIGINAL MUSIC BY STANLEY CLARKE COSTUME DESIGNER PAUL SIMMONS FILM EDITOR EARL WATSON A.C.E. PRODUCTION DESIGN RICHARD HOOVER DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY EDWARD PEI  
EXECUTIVE PRODUCERS TIM BEVAN ERIC FELLNER SCREENPLAY BY MELVIN VAN PEEBLES BASED ON "PANTHER" PRODUCED BY PRESTON L. HOLMES MARIO VAN PEEBLES & MELVIN VAN PEEBLES DIRECTED BY MARIO VAN PEEBLES

PANTHER  
A PICTORIAL HISTORY  
AVAILABLE FROM  
Newmarket  
Press

PolyGram

WORKING TITLE

CCO GROUP PICTURES 300

Mercury

SOUNDTRACK ALBUM AVAILABLE  
ON MERCURY

TRIBECA

©1995 PolyGram Film Productions B.V.  
All Rights Reserved.

ASMIK



あまりにかっこよく、また今も謎の部分が多い組織

# ブラック・パンサーとは何か

「ニュー・ジャック・シティ」

マリオ・ヴァン・ビーブルズ監督作品

「スウィート・スウィートバック」

脚本：メルヴィン・ヴァン・ビーブルズ



製作：プレストン・ホームズ/マリオ・ヴァン・ビーブルズ/メルヴィン・ヴァン・ビーブルズ 音楽：スタンリー・クラーク(サントラ盤：マーキュリー) 出演：カディム・ハーディソン/ボキーム・ウッドバイン/コートニー・B・ヴァンス/マーカス・ジョン/ジョー・ドン・ベイカー/ボビー・ブラウン/マリオ・ヴァン・ビーブルズ/メルヴィン・ヴァン・ビーブルズ

●1995年ロカルノ映画祭シルバー・レバード(銀豹)賞受賞

●ゆうばり国際冒険・ファンタスティック映画祭'96特別招待作品

1995年アメリカ/ポリグラム・フィルムド・エンターテインメント提供/ワーキング・タイトル=トライベッカ・プロダクション=MVPフィルムズ作品/カラー/2時間4分/ドルビー・ステレオSR/配給：アスミック Zsmik

## 結成より30年、彼らのメッセージが90年代のストリートに蘇る

1965年2月マルコムX暗殺。そして翌年、彼の遺志を継ぐかのように自衛のための“ブラック・パンサー党(BLACK PANTHER PARTY = BPP)”は結成された。ショットガンを手にした白人警察官に抵抗する勇姿だけでなく、黒のジャケットに黒のパンツそして黒のベレー帽で固めたファッション、ラップやヒップホップのルーツともいえる彼らの言葉が、たちまち若い世代を魅了した。あまりの熱狂ぶりを恐れたFBIによってこれまで歪められたBPP像が伝えられてきたが、結成より30年を経た今、その真の姿が明かされる。

## ヴァン・ビーブルズ親子が贈る熱いメッセージ

監督、製作は「ニュー・ジャック・シティ」のマリオ・ヴァン・ビーブルズ。脚本、製作が実父で「スウィート・スウィートバック」の伝説的黒人監督であり、BPPに実際に関わっていたメルヴィン・ヴァン・ビーブルズ。この親子による初の本格的コラボレーションが、共通のメッセージを込めた「パンサー」となった。全黒人への、ひいては人間全体への思いを込めてメルヴィンが書き下ろした脚本をマリオが監督。出来上がった本作は衝撃的な内容と熱い感動が話題となり、1995年ロカルノ国際映画祭で見事に銀豹賞を獲得。全米では興行成績初登場第5位の大ヒットとなった。映画化に当たっては架空の登場人物を設定、実在の人物には、よく似た無名だが力のある新人を配し、個性派白人俳優と特別ゲストが脇を支える計算された構成。実際に起こった事件を巧みに取り入れ、ドラマティックに再構築。「パンサー」は社会性とエンタテインメントを見事に融合した現在の映画として誕生した。

## ALL POWER TO THE PEOPLE 全ての権力を人民に

1960年代後半のサンフランシスコ、オークランド。強まる警察の圧力に抵抗しようと“ブラック・パンサー党”を結成した黒人青年たちがアメリカの歴史を変えようとしていた。「ALL POWER TO THE PEOPLE — 全ての権力を人民に」という言葉を胸に、若きカリスマ、リーダーであるヒューイ・ニュートンを中心に集まった党員はコミュニティの自衛に取り組んでいく。しかし、ヒューイは警官殺しの汚名を着せられたうえ、黒人居住地域を麻薬漬けにするという陰謀に巻き込まれる。ベトナム帰りの党員であるジャッジは、その陰謀がFBI長官につながっているという事実を知り、麻薬の倉庫を襲撃するが…。

## BLACK IS BEAUTIFUL 白いアメリカよ、聞け

BPPの活動時期はソウル・ミュージックの黄金時代と重なっている。「ブラック・イズ・ビューティフル(黒は美しい)」ということを否応なく認めさせた彼らの活動は多くのソウル・シンガーに影響を与え、黒人としての誇りを確立させた。同時に多くのアーティストたちからも支持され、先頃亡くなったジェリー・ガルシア率いるグレイトフル・デッドも71年にBPP支援のコンサートを開催している。そして今回、映画「パンサー」のため再び多数の人気アーティストがサウンドトラック(マーキュリー)に集結。メインテーマ「フリーダム“Freedom”」にはTLC、アリーヤをはじめ50組以上の女性ブラック・コンテンポラリー・ミュージック・アーティストが参加し話題となったほか、ジョージ・クリントン率いるファンカデリック、ホビー・ブラウン(彼は出演もしている)、サウンド・オブ・ブラックネスら超豪華アーティストが競演。また「パンサー」にインスパイアされたアルバム「パンプ・ヤ・フィスト“PUMP YA FIST”」(ポリドール)も発売中。

党員たちが自ら語ったパンサー運動の完全な記録、そして現代アメリカが抱える「人種的歴史」を考えるための絶好の入門書「ブラックパンサー The Black Panthers Speak」3月上旬緊急発売  
フリップ・フィナー編/小田実監訳/2,500円(予備)/河出書房新社発行



# 7月13日(土)より(20日)レイトショー!

- PM8:30より上映(終映PM10:35)ただし、毎日曜日は休映。
- 特別鑑賞券¥1,400(当日一般¥1,800/学生¥1,500)発売中!

※劇場窓口でお買い求めの方には、特製ポストカードプレゼント(限定、数に限りがありますのでお早目に)  
※劇場窓口、エスト1PG、チケットゼン、チケットぴあ、関西プレイガイド協会にてお求め下さい。

梅田ロフトB1 06(359)1080  
**テアトル梅田**